

◆ 平成29年度活動報告シート ◆

団体名：ワミポップ（WAMIPOP）

20A-58

代表者：上田菜央（学生代表）

URL : http://blog.livedoor.jp/ogiharalab/archives/cat_38475.html

1. 活動が必要とされた状況

活動の中心地である埼玉県秩父郡皆野町三沢地区は、少子・高齢化による過疎化が進み、耕作継続が困難な農地や管理困難な山林が増えており、付加価値を伴う新しい取り組みが求められていた。そこで、現地農産物を用いた新メニュー開発や当該地域の自然を活用した観光資源を創出するとともに、現地において将来活動を担う世代を育む基盤を築くことを目的とした。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

- ・ 5月：200人、イベント開催（地域農産物提供、新メニュー提供、多世代多文化交流）
- ・ 6月：10人、麦刈り
- ・ 7月：100人、夏祭り支援、中学校協働プロジェクト
- ・ 10月：約200人、イベント開催（地域農産物提供、新メニュー提供、多世代多文化交流、中学校協働プロジェクト）、15人、植樹活動
- ・ 12月：10人、間伐材の伐採
- ・ 2月：150人、日本食提供（国際交流、カザフスタン）
- ・ 3月：10人、シイタケの種コマ植え付け



植樹活動



饅頭作り体験

3. 活動の成果

活動の中で栽培した小麦や蕎麦を使った中央アジア伝統料理に加えて、地域食材を活用し、地域高齢者のミネラル／タンパク摂取向上をも視野に入れて開発した新メニューを開発し提供するイベントも行った。また、植樹活動を行ったほか、今年度は国際的な視野に加えて地域への愛着を育むことを目的とした地元中学校との協働プログラムを実施した。これまでの環境保全活動から次世代を育むことを目的としたインターカルチュラル／インターローカルをキーワードとする地域活性化に結びつく活動を行うことができた。



麦刈り

4. 今後に残された課題

耕作継続困難農地や管理継続困難山林が生み出す農産物や加工品の開発が必要であり、今後は、関係各所と連携した取り組みが必要である。

地域食材活用メニュー

